

## 市長定例記者会見の概要(平成30年第2回市議会定例会ほか)

4月26日、14:30～、201会議室

平成30年第2回市議会定例会(5月2日に召集)について概要説明を行いました。  
続いて下記項目を発表。

- 1 立川市・立川病院 こども救急室について(健康推進課)
- 2 平成30年度保育施設待機児童について(保育課)
- 3 市民団体「ウドラ夢たち基金」と立川市の連携及び協力に関する協定について(子育て推進課)
- 4 災害時における無人航空機を活用した支援活動等に関する協定を締結(防災課)

# 定例記者会見発表資料

平成30年4月26日(木)

立川市総合政策部広報課

<b>発表項目</b>	立川市・立川病院 こども救急室について
<p><b>【概要】</b></p> <p>市は「立川市小児初期救急平日準夜間診療室」を、平成26年4月より平日の月・水・金曜日に国家公務員共済組合連合会立川病院(以下「立川病院」という。)内で運営してきましたが、平成30年5月より立川病院が新たに平日の火・木曜日に小児初期救急診療室を開設することとなりました。これにより、子どもが急な発熱等で体調がすぐれないとき、平日の全日(月曜日から金曜日)の準夜間帯に、立川病院内で小児科の応急的診療が受けられることとなりました。</p> <p><b>【事業費】</b></p> <p>平成30年度小児初期救急平日準夜間診療事業委託料17,648千円。火・木曜日の運営経費は、立川病院の診療事業として運営するため、市負担は生じない。(但し、看板の架け替えに伴い市費負担が生じる。)</p> <p><b>【開始時期】</b></p> <p>平成30年5月7日(月)より</p> <p><b>【PRポイント】</b></p> <p>平日の全日(月曜日から金曜日)の準夜間帯に、立川病院内で小児科の応急的診療が受けられることとなりました。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：厚生産業委員会</p>	
<b>添付資料</b>	有
<b>問い合わせ先</b>	福祉保健部健康推進課長 鈴木 眞理 電話：523-2111(内線)4700

# 平成30年5月7日(月)より 平日の月曜日から金曜日の夜間

## 立川市・立川病院 こども救急室

### を開設します

立川市は、平日の月・水・金曜日に立川病院内で「立川市小児初期救急平日準夜間診療室」を運営していますが、平成30年5月7日から、立川病院が平日の火・木曜日に診療室を開設することとなりました。

お子さまが急な発熱等で体調がすぐれないとき、平日の月曜日から金曜日の準夜間帯に、立川病院内で小児科の応急的診療が受けられます。

診療科目・・・**小児科（15歳未満が対象）**

ただし、応急的診療のため、投薬は最低日数分となります。

診療日・・・平日の月曜日から金曜日（祝日及び年末年始を除く）

診療時間・・・**午後7時30分～午後10時00分(受付時間)**

場 所・・・立川病院1階 立川市錦町4-2-22

（正式名称 国家公務員共済組合連合会 立川病院）

※病院東側の「時間外出入口」よりお入りください。



**042-523-2677**

お 願 い・・・保険証および乳幼児医療証等を忘れずにお持ちください。

保険証をお忘れの場合、または使用できない(交通事故・第三者行為)患者様につきましては、預り金として1万円をお預かりし、翌日以降の精算とさせていただきます。

# 保育園待機児童数

記者会見資料  
平成30年 4月26日  
子ども家庭部保育課

各年度4月1日現在(単位:人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
就学前児童数	平成29年度	1,428	1,522	1,525	1,517	1,505	1,482	8,979
	平成30年度	1,390	1,469	1,508	1,535	1,503	1,514	8,919
	増減	△ 38	△ 53	△ 17	18	△ 2	32	△ 60
申込者数	平成29年度	346	737	729	2,086			3,898
	平成30年度	335	676	769	2,141			3,921
	増減	△ 11	△ 61	40	55			23
定員	平成29年度	314	1,190		2,087			3,591
	平成30年度	335	1,324		2,280			3,939
	増減	21	134		193			348
実施数	平成29年度	302	592	677	701	695	673	3,640
	平成30年度	305	625	747	710	710	709	3,806
	増減	3	33	70	9	15	36	166
待機児童数 (旧カウント)	平成29年度	44	144	53	10	5	2	258
	平成30年度	30	51	22	9	2	1	115
	増減	△ 14	△ 93	△ 31	△ 1	△ 3	△ 1	△ 143
待機児童数 (新カウント)	平成29年度	25	85	31	3	0	0	144
	平成30年度	13	22	10	3	0	0	48
	増減	△ 12	△ 63	△ 21	0	0	0	△ 96

## ○ 地区別待機児童数

地区		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
南部西	富士見	0	2	0	0	0	0	2
	柴崎	0	4	1	0	0	0	5
南部東	錦	0	1	3	0	0	0	4
	羽衣	0	1	2	0	0	0	3
中部	高松・緑	2	2	1	3	0	0	8
	曙	9	8	0	0	0	0	17
北部東	栄	2	3	1	0	0	0	6
	若葉	0	0	0	0	0	0	0
北部中	幸	0	0	0	0	0	0	0
	柏・泉	0	0	1	0	0	0	1
	砂川	0	1	0	0	0	0	1
北部西	上砂	0	0	1	0	0	0	1
	一番	0	0	0	0	0	0	0
	西砂	0	0	0	0	0	0	0
合計		13	22	10	3	0	0	48

## ○ 地区別定員未満(空)数

地区		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
南部西	富士見	5	1	1	7	3	2	19
	柴崎	1	1	0	1	2	7	12
南部東	錦	0	0	0	0	1	1	2
	羽衣	1	0	0	0	0	0	1
中部	高松・緑	0	0	1	2	7	7	17
	曙	1	0	0	5	1	3	10
北部東	栄	2	0	2	1	0	1	6
	若葉	1	1	2	14	12	11	41
北部中	幸	1	0	0	2	1	0	4
	柏・泉	0	0	0	0	0	0	0
	砂川	0	0	0	0	0	0	0
北部西	上砂	3	2	0	8	12	12	37
	一番	2	0	0	0	0	0	2
	西砂	3	0	0	21	18	19	61
合計		20	5	6	61	57	63	212

# 定例記者会見発表資料

平成 30 年 4 月 26 日  
立川市総合政策部広報課

<b>発表項目</b>	平成 30 年度保育施設待機児童について
<p><b>【概要】</b></p> <p>平成 30 年 4 月 1 日現在の本市の保育施設待機児童数は前年度より大幅減で 50 人を下回る見込みとなった。私立認可保育園 3 園及び分園 2 園の新設のほか、市立保育園の民営化による園舎建て替え、私立幼稚園の認定こども園への移行により、348 人の大幅な定員の拡大によるもの。</p> <p>就学前児童数 8,919 人のうち、申し込み者数は 3,921 人で、3,806 人の保育を実施し、待機児童のカウントは 48 人。(最終精査中) 前年度より 96 人の減。</p> <p>就学前児童数のうち、保育の実施率は 42.7%となった。</p> <p>一部の地域や 0~2 歳で待機児童はいるものの、市全体ではおおむね解消したと考えられる。</p> <p><b>【事業費】</b></p> <p>保育施設の新設等の施設整備費は平成 29 年度予算で対応。 事業費 : 505,618 千円</p> <p><b>【事業期間 or 開始時期】</b></p> <p>待機児童が 100 名を超えた平成 20 年度から公立保育園の民営化を含む待機児童対策を実施。</p> <p><b>【PRポイント】</b></p> <p>女性の社会進出により保育の需要が高まり続け、定員枠を増やしても待機児童が減らない状況が続いていたが、待機児童対策に計画的に取り組み、この 3 年間で 600 人の受け入れ枠の拡大を図った。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会 : 厚生産業委員会</p>	
<b>添付資料</b>	有
<b>問い合わせ先</b>	子ども家庭部保育課長 三輪 秀子 電話 : 523-2111 (内線) 1115

# 定例記者会見発表資料

平成30年4月26日(木)

立川市総合政策部広報課

<b>発表項目</b>	市民団体「ウドラ夢たち基金」と立川市の連携及び協力に関する協定について
<p><b>【概要】</b></p> <p>市と市民団体「ウドラ夢たち基金」は、協働によるまちづくりを推進するため、「市民団体ウドラ夢たち基金と立川市の連携及び協力に関する協定」を締結しました。</p> <p>これは、市内の子どもたちが夢をかたちにする事業や、子どもを支える事業、環境整備等を資金面で支援するため、市民団体「ウドラ夢たち基金」が設立されたことに伴い、今後、子どもたちの夢の実現に向け、市と「ウドラ夢たち基金」が連携・協力することを目的として、締結したものです。</p> <p><b>【開始時期】</b></p> <p>平成30年4月24日 協定締結</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会： 厚生産業委員会</p>	
<b>添付資料</b>	無
<b>問い合わせ先</b>	子ども家庭部子育て推進課長 伊藤 京子 電話：523-2111（内線）1125

# 定例記者会見発表資料

平成 30 年 4 月 26 日（木）

立川市総合政策部広報課

<b>発表項目</b>	災害時における無人航空機を活用した支援活動等に関する協定を締結しました。																																
<b>【概要】</b>	<p>一昨年度の熊本地震において、地図作成による災害支援活動を行ったNPO法人クライシスマップーズ・ジャパンと防災協定を締結しました。</p> <p>協定の主な内容は、災害等が発生し、緊急に支援活動が必要であると認められるときは、NPO法人クライシスマップーズ・ジャパンは無人航空機（ドローン）を飛ばして被災エリアを空撮し、被災状況の調査及び被災状況が反映された地図を作成、その後速やかに市に提供していただけるものです。</p> <p>この度の協定により、市は被災後の状況把握を速やかに行うことで、的確な人命救助や支援活動ができると考えています。</p>																																
<b>【PRポイント】</b>	<p>この度は、立川市を含む協定未締結の近隣市 14 市が一堂に集まりNPO法人クライシスマップーズ・ジャパンと防災協定を締結いたしました。</p>																																
締結日	平成 30 年 4 月 25 日（水）																																
場 所	小金井市役所																																
参加者	14 市 ※下記の通り。 NPO法人クライシスマップーズ・ジャパン																																
	<table border="1"><thead><tr><th>No.</th><th>市名</th><th>No.</th><th>市名</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>立川市</td><td>8</td><td>国分寺市</td></tr><tr><td>2</td><td>武蔵野市</td><td>9</td><td>国立市</td></tr><tr><td>3</td><td>三鷹市</td><td>10</td><td>東大和市</td></tr><tr><td>4</td><td>昭島市</td><td>11</td><td>清瀬市</td></tr><tr><td>5</td><td>小金井市</td><td>12</td><td>東久留米市</td></tr><tr><td>6</td><td>小平市</td><td>13</td><td>武蔵村山市</td></tr><tr><td>7</td><td>東村山市</td><td>14</td><td>西東京市</td></tr></tbody></table>	No.	市名	No.	市名	1	立川市	8	国分寺市	2	武蔵野市	9	国立市	3	三鷹市	10	東大和市	4	昭島市	11	清瀬市	5	小金井市	12	東久留米市	6	小平市	13	武蔵村山市	7	東村山市	14	西東京市
No.	市名	No.	市名																														
1	立川市	8	国分寺市																														
2	武蔵野市	9	国立市																														
3	三鷹市	10	東大和市																														
4	昭島市	11	清瀬市																														
5	小金井市	12	東久留米市																														
6	小平市	13	武蔵村山市																														
7	東村山市	14	西東京市																														
<b>添付資料</b>	無																																
<b>問い合わせ先</b>	市民生活部 防災課長 茅沼 孝治 電話：523-2111（内線）2138																																